を観察中であるが、急に日程を起

一方京城商工会議所が中心となり

表をも指律し、盛大な日伊安職吸

四日午後四時十五分京城崇後『あ一行は各方面から歌地を受けて廿 かつき』で一路果京に向ふはず、

同夫人伊太利「ファシスト」

浦線方面より歴退し目下断始に司 省境の漁職附近に配館し、南は北

出却した程譜と下部域を何亩陝西

全部を強く李宗仁定及び九江に司

順を交へて懇談

一行のメンパーは左の如し【貧眞

|禁部の優雅 朝郭音樂を奏して| 行の説情を振めることになった、

し劉興朝鮮、經濟的地位を服務

国の他前版の大域を心から数型

こやかた担に学島の産業経済の活

かくて「と共に支那側の速日航衛計画は急「備売費に延売してゐる、即ち目す」 本第一線は京慶線、鉱州から計州三統の活「巡命を決すべき。度日政時度の切迫」第一線とする悠大な外部陣地の黙「つゝある陣籍は光づ

【上海二十一日同盟】國民政府の | 々国(戦きを加へ遠く京政報告州を) 黄河の池巌郷を狙って完成を急ぎ

語の銀行経証の各代表者は一

あす午後。のぞみ、で入城

東久邇宮妃殿下羅南に御着

(廿一日夕羅南驛にて謹寫)

| 御賦件選ばされ二十二日朱乙から| 十九師既司令部に御荒、尾黃師職| 御徒、小縣法称部長での他予部長、

|殿下には松本質※別當以下諸貞を||自動車に召され午前九時三十分第||長の御先郷で師際長量に神少郎の||司令部進る大佐、森本豊兵隊

羅南師團司令部、軍病院へ御成

長途の御旅の御疲れも拜せず

資源續々發見

高介の資源が譲る盛見されてゐる | 採れ年虚一億斤に達すると云はれ | |各方面の調査する度によれば| 浙州東北方の選城の近くに

| る、又開誓の北方地區には天線の|

の水渦から発れ茂河も直ちに一大 **芸凛と化し低彫豊富なる電力によ** らるこのみならず毎年下流は池 起したら照線江以上の大電源を担 い、之にダムを作つて水力電気

问師値かに百二、三十米に過ぎ

は周晩十二里もある鹽池と稱する「「ソーダ」が環山亜出附近の井水」るのではないかと注目されてゐる

県下の池田部区と水上舞希線原部 「で織山、鷹州、安慶を精ぶ線路変」間にも報送される総態で、國内は「6角月11十一日同盟」隅州より | 安慶北岸にて擬手を遂げた、かく | 日毎に続り、総跡総告は夫が親子 交通線完全に連絡

俄に威丈苗になった。

た支那側は目下これが閉止に必死。なつたと言はれる、なは蟷根によ し二隻とも除形もなく木端後腰と

行為、軍事工場その他重要施設の ·布片 拓赤状配官(二等) 拓赤局面

U, U

た有利な保険であります。 は多額の割増金も耐く、貯蓄を兼ね 年々高率の配営が附き、更に満期に

○掛金の非常に廉い

道質官 뭞 在

天地支責

の王座に立つもの 断には世界公認記録がないの』 日本の航空の成力は正に世界 一小學生日く「海の荒紫の活

| 質を申すと、鵝者の心には、直縁 につとして、微笑を作つて言った 思ひ過ごしだったのだ。前之介は 心事を見抜かれたと考へたのは一たが、皆い確の外に近づいて来る

能之介は公儀直縁と稱する武士 女――外なられ、柄粉だつたの

|客んであること、しかもなほ運動 を観憶してゐるのは、及初に世話 從つて今では浪入生活の氣骸じを

と以来は聞いてゐたが、我証を に優しく柔らかであることに叙が うろたへてゐたが、それでも、原

なるほど、なるほど

全群運動場の開放、何ぞその | 得たりといふやうに笑ひ出した。 ろしい。そこだ、そこだ。今更に 『よろしい、よろしい、大いによ

本日夕刊八頁

| 電歌を | 電力・ | 電力 潜山瀘川安慶を結ぶ

職員、武田中佐以下、在羅部深上 | 院長から病院傷房兵の狀況を御稿 | 取遊世され、それより第一、第二 を贈び尾高師廠長侍立の下に近藤 態の御後上村大佐以下三精茂に謁 てひた押しに進撃を扱ける我が指一が水質を消滅したま、江上で爆發 【上海廿一日同盟】漢口を目指し「敷設に從事しつ、あつた治典二集 防江手段に水雷敷設

旅院長夫人以下に賜謁、畏くもた

傷病兵 発情の神経

高師順長に優議なる御言葉を賜ひ

上、午前十時六分司会部で御後、一年高中將は恐怖艦艇して御載を言

はされた

感激溢れる

その日の羅南

列立経験を喋び、更に田邊第三八|病棟に御成り遂ばされ

長官、在総整校上長官四十八名に

御聽取 遊ばされ同全部

宮概を恋へなり然光に取くこの日。起版下には最適の御旅行に御扱れ【櫛南】畏くも関母陛下御差望の「御召列単に辞かに繋が1Aに節御 (二十二日)の維密は朝來南談供 |の御色も押されず、縣ホームに皆 |年前丁時三十六分道牒へ御向心遊 に五十キロ上流の部院御入口に志| こととなるので、一日でも日本軍段の院注手段として羯頭館より更| ば、漢日は既に死命を継ぜられる となってあるが、確议なる協に達しれば支那側は日本軍の混算進用を 則概突撃部隊によって突破される 理論にあることを知り早くも第二 | 巣中する質量が日本軍の手に陥れ 第五十キロの馬頭旗に現在設定さ 一九江、南昌間の南沿磯道のレール に情報によれば支那側は安塵上 | 阻止し得ねと見てこの数日來送に - よも早暇日本軍の最 | を外し始めるに至った、これは飛

始めており、先週末にはこの水滑一苦歌と見られてゐる 蘇聯の對日態度 日毎に尖鋭化す

背掃された市街には軒なぐに関連。長、李内称部長以下道高等官、並

◆垂れこめで、滞めの細雨により 列泰郎の尾高神院長、在郡各部に

確なる統への情報によれば血の啦 人に建築か行けれて表面相當市児 **劉日歴度は日毎に失戦化し去る寸 | 反目に加へて外人に對うる彫道は** 正か続いられてゐる一方、蘇聯の一を呈してゐるが、上下官民相互の 日浦盛に入港とた朝野汽船盛京

城供道に通ずる市団飛道に

かくて定列前等刑職場には加用大

しれれ感激の色があぶれてゐる、

道行く人々の類にも云い

公職者代表等に對し御會縁を鳴け

西南方に亘り孫連仲部派を配備っ なさやを監検するほか、ポストま は云ふに及ほすベットの下板と取 九の出戦時に帰して、マッチ網算 頭を捻つた揚句質ひ求めて來た 消解肌察から聞った火谷拓相、 近衛さんに何か良い御土産をし

似に大蛮であり、且つ近人のラデ 市中は折構の工事期のため盛し

> のませてらん の朝鮮人墓で 『之を樹理』

数の初始部域を配備する。

るため本府學術局が重要役となり へてゐるが、さらにこれを强化す 避して図家絶跡員運動に足並れ 事観突後するや南遷者が陣頭に起

を映止める任語を帶びてゐると

師に上り浴々之が集結に努めてゐ 泉娥を中心に半島の各種閲覧が結

國民總動員 朝鮮聯盟結成 時中食等々の有力階級が競退人

問週調强

小機関造戦軍二百隆を加へ、を製備するほずだ

続してゐる(葛萸は大谷拓相)の處理に當つて讃ふのだ』と期 その勢ひでパリパリと支那事種 と納力をつけ

なって二十二日午後三時から 助愈よ露骨。足もとを見てうま い汁でも吸ぶといふ下心ならば フランスが今になって對支援 この領域極めて好歌的である

運かりし。併し返しと雖も之は]

楊成し、上に「働より九極王で(一架を加へ総訂七百歳に達する野砲| だ、又禹門(何熊北方)の東北市 日常局に既に三十年の種兵県隊を「隊にはソ聯より権入した三百八十」 はこれがため代料に適言ない有様 山地帯からは極めて良質の原油

|通線は完全に連絡するに至った との西水桶の道共分貼所で發見し同い。 如果側に漂査したのを折ば達成中で 対は日に一般の影響性角船が現はれ 汽船を抑留し乗組員七名を遮楣し 宛然戦国時代のや5だ 拓務辭令(三計) 闘們江上に 漂着

概につらわることをおことわりせ

と思ってござったのでござらう。

「もつて待遇せらる」

超級消費官] [尊

◇蒸梨新五郎代議士 廿一日夜

【線外赤』

航研機の世界記録こつ

AIによって公認さる

人の姿を見ると、はつと胸を確か

のが、生ツ蛇

第三國の生命職産の保護を各自一

を感じてゐないこと等を打ち明け

となったならり

强化を目指して年八十

政府は長期戰の銃後

動を開始されました。 億圓の一大國民貯蓄運

我社の提供する左の



郎郎

顔之介の様子を見ると、風歌は

老中館頭の松平豆州様の御春間を すらそれほどの見能でゐたのだ。 **釜御取立てを望んで上府なされた** 『まさむと思つてゐたが、矢張り 公使り御召出しの話があつた時 は一萬石が一覧かけても奉公は世 をすりがが不見識なので、わし

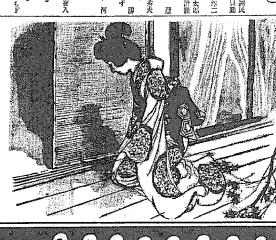
|第一學例といふものを言やうなこ||心たが、その底知れぬ自負心に

の配営の頗る多い

質な實行方法です。 目的達成に最も有利確 保險こそは正にこの大

別養米

が叙に入られ



U, U

非常に掛け殺け易い保險でありますが附きますので厭い掛金が益々厭くが始きますので厭い掛金が益々厭く、非上年々配當

民力 運 ES 店支城京 通門大南・城京

時半から燃生院、公益貿屈、職民谷砂消官を逃れて廿二日午後

四名は滿洲國へ逃走

|三人組掘佐の共犯金原第二と李春|の同居人金風業の自轉車を照明

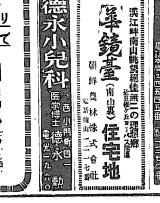
戰時下の中元大賣出

計画限の製みが繋がれ

下さいませ

<u> 廿二日より</u>











○ 化 て ||中川特派員發便

す、際に決死隊となつて十九日か御雨製築の骨折りをお姦し致しま

ら二十二日まで馬家山で蘇菔五米

死を求めて

或前五米。 一

Ham Ham Ham Mark Mark Mark Ham Ham H

自信一ばいの良品廉賣を發表!

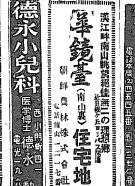
特賣品中には ございます くお越し 場 會 階

品數に限りが どうぞお早

一肚然た戦死を選げた旨事二

徳永猛上等兵山西に散る





















定規募應

で物るなれる使みず必もで庭家御のこど晩朝 。かすで何は物な効有も最にのるす防豫を歯シム 課 。いさ下てれ入を学文な常適へ處の〇の下 題

磨磨ンオ〇ラ

◇ 業

界

æ

ア

ツ

B

Ħ d

ħ

衣 季 前

0

儸

L

好"

評

0

波

إكر

乘

つて答案櫝

4 稷

到

◎ライオン 自 回 風(田に小形)

簡惡用紙

朝意製品、大の五種と

1、簡任所と御姓名 | 四、北勝告を御恩の新聞名

O

◇□№質、

音價。

貢作の

信用に於て、

5

介ガン

圖層

27

優るものはありません。

◇此優秀な歯磨を愛用すれば、

幽

も丈夫、

身體も丈夫になる事、

請

国の帰郷を企て、果ごで短刀を排で銀行回りの婦人を親ひ二千五百

の情報を加へて逃走した個人費

様であったが今月に入り又も自轉

面から現金一千三百四を何商食へ

三名を逮捕送局し一時根路へた模一への途で前義州祭員節倉店具任日

【平瓶】去る十六 日白党府内運町 | 知箋するので戦敗強者では疑起犯 | 有のトラツク助手標仁前若は去名

人搜查中先月十日主读者田妃日外

五月一日駒州郡九曲面から寂寞州

恩給年金受給者達か

治しませうと

頭する私方は、人助けの賃養切を

的概決で未然に前さればなり「聯帯首へ至金、ガキで申込れ」に応い和しい病類ですから、 又は轉月市山本第五丁目式機能和に指い和しい病類ですから、 又は轉月市山本第五丁目式機能和山市(署金額) 「近年了 親日報館者と署き和歌山市(署金額)

な整肌

を暗

色

| 全州 こくには照料、年金、扶

設立されて各方面の出目を超いて 助料受給者を一隅とした戦争者が

の際氏が、最起人となり、全州受一同語者を収証の近く給付される思

《白皇花(元都守)▲帝 東 谟(金舎を設立:昨内年生院を若に捌・州戦時局に依託して「疾院等人(野村部がの)」をので半神所を非関する。日本のは、「元都の「元祖が四」を現ばして「大蔵会遺動を起した」会の成立に近半總督府省局に「任名職」(元祖が四)▲帝 東 谟(金舎を設立:昨内年生院を若に捌・州戦時局に依託して経院第入し献、(古代) (股給、甲金、扶助料) 者國牌戲 给毕命、扶助料中より一回分宛念

のと判った

かその理由は 吾斯事件——清州邑鄉町超

舊惡の泥を吐く

銀行歸りを襲つた未遂强盗

その宗族とも協議せず中第で修 東し数用の辛分、廿五四の支持 第し数用の辛分、廿五四の支持 第し数用の辛分、廿五四の支持 第し数用の辛分、廿五四の支持 雷で決役したが韓は趙炳哲及び一個の堤防が一昨年八月の大瓜水山の堤防が一昨年八月の大瓜水山の堤防地域が

程職具元は詐欺及の政教唆罪で起 門事件は満州法院支護権事分局へ

【新選州】府内梅林町四槵經數要 岩妻鴨江に顧落

既、京城へ高飛ごする旅役を稼ぐ

- セナス日銀行踊りを襲つて失

め西門高女の校長室に恐び込み

死を吐いてしまひ是後に『今度は

た貨客事意製

朝鮮商船の新造配船から

2周々戯だ」と放言し、保貞を苦

た、それまでに出て來られた

夫婦宣世

単純で採算を度外線し繊維学を改一間を各面総合、際盤、振興谷で取「こと敬義」型を襲り、率はこれが「長月作品交易質式を暴行(釜山)唯年市総設建総路の資金「糸げ、その職勢の結構六百三十五」の市が飲富し部語の認定事業 説よら種品書音 並に以優良電功券者優

南鮮沿岸航路再び時化模様

機能の上國院献金として郷へ寄託。原因で十八日組命したので十九日

映川器公野美蔵非氏の手で解剖の一

山東の渡り鳥

四千六百人

安東へ上陸

細君は逃げ

した朝鮮汽船、光本回湾部、朝鮮

かけてあった浮服の上衣からエル ひので建立意能で診てもらったが 月十五日入り込み、右手が少し縦 たとまくし立て更に平壌には本 延興したことを『大類愉快であっ

ての場で悪心を起し診察室の態に

テン腺中時間(時價百五十四)を失

辛うじて引き出す 製瓶型院に挽き込み、金院長人の間めでやつと府内黄金町 に落ち込んでしまった、サア ルノへと咽喉を通り停袋の中

車花樹城行し既に十数後の居出が | 概遠を依頼され作業衣のボケット 【新義州】平北朔州邑楊熈漢氏所、延三洞で荷物を積むためトラツク 失つた大金 盗んだ男が 使つて發覺 で取調べた農気日助手艦仁龍君が 無職権権以びの金便ひが置いの後期州署から捜査中九曲両延三消 くなって遊祭に届田てたのでその に入れて持つて來る途中級失し皆

胃袋に真鍮の箸

魚の骨が祟つてこの珍事

大子供に続きに堪へきれず箸が一時間食り苦心の字類特の人子供に続きに堪へきれず箸が一時間食り苦心の字類特の人子供に続きに堪へきれず箸が一時間食り苦心の字類特の人子供はいません。 教皇方法として抗道を仰向け を引出て先生はをらず、あるへるのでびつくりした家人は でみたが胃袋に苦ち込んだ箸 相差以男の遊べ)は去る二十 が明喉に引つかくり苦しな題。各所の発院を断け廻つて観ん日子设六時頃夕企の勝風の骨、大観、茶くなつた家人は府内 に終かせ、魚の骨を突落さら 【成例】 府內黃金町一丁貝爺 引出したとは嘘のやうな話で

金九十四入りの金母を答人で妖生

と歌遊したのち構恵地に飛び散々

道松宗郡
京自動車
南谷に使入し
現ながらな
に改設せず本年三月
黄海

ひに失敗し六ヶ月も臭い飯を喰ひ

な口間で犯行をスラーと自自し 9仕方がありません~と随る頭か 女子国君に担母されて來たが恋 中を京城師路祭具に悲聞され廿日 共衆統を所持して京城府門を徘徊 開野の指名手館により十八日夜玩館前科一個元数以朴満路により十八日夜玩

了防献金會結成 ◆芝芹俊(元利市)守山五百足 | 柳所に従さる自年朝百分の一以上 | を停車し作業或を脱いで巡標をに(元明本課長) 悪の本性ぶり發揮 殊遇に報恩の赤誠 一百分の一以上醵出 漢("**)、同概磐元("**)の三名を相 竹面學院里問蒙姆與元("A)同安甲 · 5.7本字二月二十二日,衍州福四 が指の後見人語の祖母、排乙玉は 活州 堤防修築費折半負換問題 修築費騙取 反對に訴訟

下多代を極めてるるが設近不順の 出有方法に就て準備其他のため目 天候で低温と多温のためリンゴの 管頭の野心なん

下内地域行中の五島職助氏が踏登 の後に迫つて、立石、西條、五島 日突如記者國に對し会見を望み次 らず問題の人物西條利ス氏が廿一 中立の四勢力に大明された三十五 各氏の推験支持部との数ながらも して発頭候補に乗出すと否とに拘 と化し非常な混竄となったが、目 名の立候補者は今や全くの自兵職 【益山】廿瓦府民の血を弾かず釜 の如く食頭互選に超舞野心なしの

蘇明を接した 申出でたところ様々デマが流布の路路巨速線に合って出馬を決 長に未練も持つてるない、咋峠のお子を狙つても居ないし副議ることに甚だ疑念である、仲頭

い府内線所遊職丸隔線製板導丸に撤離された。同人は本年四月頃か 強れて根据を段配化し一千三百四 である。 の発表します。 の発表します。 の発表します。 の表現であった後の上に乗って、が多いので同組合では一般組合は、あての表現が影響を開布し数延弱器に努力にいてあった後の上に乗って、が多いので同組合では一般組合は、あての表現を開布し数延弱器に発送によった。 明となった。 問題質消の容疑者として釜山暑へ 町五丁目久賀張」ついは十日夜 [釜山] 府內大倉町清水運送上員 ボの皮を剝ぎとつてゐたが足を うかれ店員 娼妓に溺れ 根簿に大八

未付有の大豊作強担のリンゴ統修 【大邱】座北果物租合では今年度 林檎に炭疽病

大蔵である英垣病が急鼓生し栽培、て地均らし中、五年生の数名が東 南で新運動場が水間りとなったの で廿日年後一時頃五、大年生をし

工砂崩壊し 學童生埋め 一名即死、二名重傷 統営第一校の惨事 側の山土を取り運ばんとするやか

即死し、振教文、金融基の南君は 門校で郵便を行つたが、同校は蚤は放後通夜を行ひせ一日午前九時 に男女数員が堂々と信正室に宿つ 重傷、他は無事であづた、塵疾で もので女兄間に非縁の懸が高い 生徒のみを放りばなしにしてゐた 導者が現場監督すべきにも揃らず た不祥事件があり、今回も首然指

が、不幸にも相相姿義勝君、こは 大騒ぎとなり直ちに穀助に努めた 如崩壊し六名が下数となったので

廿一日記者團さ會見して

就任すべしで職が如何にするめ、の教務系が平等に出資して基金と限には立在、五島南及、 並っる機関として基金共同組合を及べていば対象なす方式者が、 知線っぺく蛇健中であるが大党本の進いにはしたい気持ちのみである。 平隣員で結構である。 粒間の似を亡くしてから以来 | 表源開發に記車をかける一気と 四條さん立場聲明 ると共に朝鮮中の物 山地帯ニケ所へ設置する計量にた 一つてゐるが、阿組合設置は隣保洪 する仕組みで先つ道内でも重異戦 の魏義家が平等に田費して基金と

產金共同組合 忠北区組織

関策に脱離せんとする極めて概定 助の職しき精神から田鼓した産命 に適した試みとして歌迎されて

【済州】忠北道常局では道内地下 不注意な機關車

中薬物上の治証を起ったいの現場分置結合手材元体(80)が自動能制 四號列車を順天殿進事事所陪構開 子拼早月(**ごが選撃して原天に向 連結せんとして大神経過医光州 べく機関車に水を入れた後空車 (光州] 十九日午後二時五分三八 老人を刎ね飛ばす 居させて低しいとて訴訟を起しな、法律の力で強制的にでも所以上夫の放場を忍いことは田本が足夫の放場を忍いことは田本が奴遣の跡來を思ふにつけこれ 【大田】二十六日夏項で舉行の意 忠南機猷納式へ 有地鐵要司令官

が説に輸血加採中であるが加害 採用人は紫砂上の過失機害 日大田麓京城へ向ふはずである 一十八日衛城温泉を祝祭し二十 一直二十六月是项、二十七月扶然

胸にせまつて 読がにじむ!

塱 産 最 高 實感がグンと

負にせた、目下生命危害、光州道 孫三褒 "」を 刺れ飛 ばし 重偽を

軍大臣代理として監場の有地線推

要形部司合官は二十五日間 図派事構忠南線の命名散納式に希

で石炭炭を選集中の光州分區権人

【安里】安康を封て入論した山東 | ひの夫鼠県府山手町有力者金原總 | 版は二十一日成異地方法院に委在 【武獎】咸州巡川原面原襄里李惠 妾狂ひの夫

の細君が異家に闘ってしまひ三日

単を現出する形勢となり成行きを

沿岸航路は丹び連轉して猛地な前

胃を食びカッとなつて数回の角弾 | 車間の就航許可を田駅、近く就転 日宅に限るや、山の神から数々叱|日金山に同航し盆山人同駅、露架 *30十六日一杯氣鍼でフラー〜と | 海峡丸(・七三屯)を大阪より廿 ||整画松市里||二||三批|||世代||巨比|||太平丸、太安丸に貫挽する寄造船で自宅に放火した馬鹿者、江東郷」が、朝鮮前船側では朝代の侵済船

で置じたまではよかったが脱戦してるらしいので小様を得た南鮮の

平壌。犬・食に白夫婦収壊の果

一張で最近設和された状態にあった

年長者を歐殺

警官殺しの理路

李白玄に死刑求刑

共犯金は懲役十年

食で開返されたが主犯字自対には

親爺は放火

アラしたものと悲觀し、変なくて

出目されている

永同郡民の

目轉車泥棒橫行

| 上行はれた観客舞園園間は辞載を | 即から平坂地方生活園園観賞長春 | はまる 十七日 葡萄園で土)金東 | 現化について鑑問した| 「未育」浜川部内を画で追載 | 郷 | 回公判は既報の知く十一日午前十 | 夜(食)式 | 【表問】魏山郡で 時月下における船は既社の報を開催。我人、安 飛利行振者事件の第一 八日 | を寮舎部守総総の下に開催。非常 | 大衆党、公が終行振者事件の第一 八日 | を寮舎部守総総の下に開催。非常 | 大衆党・公が終行振者事件の第一 八日 | 「大学、公が終行振者事件の第一 八日 | 「大学、公が終行振者事件の第一 八日 | 「大学、公が終行振者事件の第一 八日 | 「大学、公が終行振者事件の第一 八日 | 「大学、公が経過した

使入、領盗、强盗強備、殺人、殺一般があった、判決言義に來る二十 生れ会成主には順名にかいる住居一死刑、共犯金成玉に懲役十年の求 生れ住所不定学自立で、英紀江西「食で開巡されたが主紀学自立には「平城」巡示殺しの犯人平北江水「山本雄田風院居列本、諸岡校並立

山を探りした田麦畝銀理事の科 【群山】話題はなかに金剛

《日本社园·海山园一曲目







これからは下地が完全 お化粧崩れを防ぐ を整へて下さい。白粉 がしつくり肌に落ちつ でないと折角のも化粧 理想的な化粧下 30一日中永モチします ロシングで充分にも肌 世前には必ずウテナベ か醜く崩れます。 や化 とかくな肌の汗ばむ

お肌に悪い粉白粉

定價・七十二錢

四十盤

を塞ぎ皮膚障害を起してきをあるとが切な毛穴や気形の をかけません、餘り細かでもんがはな毛穴や気形 原因を造ります。メを粗くしニャビ吹出物の



政保久戦闘学会・領本科技化ナ

汗や脂らに

ですので誰方のも肌にもし粒子度が旨木人の肌に最適 ツキ決してお肌をアラさず 別の新工夫が加へてありま 所れぬ粉白粉 くりと落ちつき温新なも ウテナ粉白粉は粒子に特 からノビが自然で美しく

心粧が一片中永モチします

が肌を美しく整へなければなりません!!

適はしく潑剌としたお化粧をなさるには

朝夕の洗顔や人浴の後には必ずウテナバニシングで 深部に滲透しキメを細く培ひ皮脂の分泌を健康に調 へて下さい。强力な美肌素がサラツと皮膚 ルミやニキビ吹出物の原因を解消、初夏

お肌を整

の若肌を育くみます。 で完全に豫防してグンと彈力のある潑剌と

の陽焦けを

正し小皺々

した色白

田河でえ

6

の姚果に聞き、臨出してるる大声であります。

雷地の中脳技に率時

照わて二見を基まれ

れ、この「総額わかもと」中には、本の「総額わかもと」中には、

には各種の貴重な製造業が、豊富

が豊富に含まれてるる許りでなく

母體の過重な負擔

見を分配する事が出來ました。その時の窓びは 来「鮭頭わからと」を服んでるたばかもしれまへる事が出來ませんでした。 成が、私は一昨年 の我親の爲安産する事が出来ようとは夢にも考 せん、窓に相当して、本宮に易々と十月末に男

申されましたので、今更の器に「蜉蝣わかもと」けて圏用するとよいですね。」と笑ひ話の様に で、信用から受者にもと思ひ、小世第一の病院 全く習べようるない程でした。 間で安重することが世來ましたね。多分「総形にて、博士の談話を受けましたは「よく貴女の しかし昨後の肥立が思はしくない様でしたの

本語に対なって、大低けての時の ・ 報覧の不足から、お覧を分离する ・ ないので、大低けての時の

よいお乳を多量に分泌させる

~。これに就いて最近、 新聞紙に

母體の鬱命を縮め

よりますと、日本人の一夫婦から はたりさせん。その上晩好には昔、宮の総訳を招き、醍醐を前される駅でも有名で、皮も磨者の総計に めに、多くの母乳を供給したくて、あり、自然釈釈が不足して、跳番日本の婦人は、多悲の方では世一晩しれ、出走すればさた彩見のた。これはいけないと課題する師さが は、平均六七人の子供が生れると一から、飲食について、あれは悪い一といふことになるのであります。一かに恢復日本ものであります。

お乳の出をよくする

・問組織は弱数と、抗病力に坍弱さ

學醫庭家

いくてはなりません。

身體の衰弱を防が

₽.

氏 郎 灰 與 宮 俗

は、複合ヘーフエ酸酸「緩緩わか門家の間で最も複製されてゐる心 類等の必要が敗かれ、一般家庭で 上古程子問題を置め、蔣宗升馬 除見の質牙骨棒を造っカル 一の内服であります。

暑さに向つて

病が多くなります、

これから病菌の繁殖

油斷すると大變!

服川して未然に病

氣を防ぎませら。

品にカストルを

一寸した病氣にも か旺盛になり傳染

七人の子供を出産

上なく愛用さ 用としても此



得の整肌作用 科學的便良品

受な抵抗、田産時にも、このおへを差値の様におへ、1音楽変の多を差値の様におへ、1音楽変の多

口より入る病を防き

精神を爽快にする人

清凉劑及獎音劑を配合す

言法換離は咽喉の乾燥を用しせ壁を美化し和榊延つて其物を向芳香により口中の悪臭怒熱を論

健胃整腸劑を配合す

口中殺菌劑を配合す

劑と効用

する諸種の病菌を豫防し精神を爽快にす

機能の活動力を旺盛にし口より侵入力費とルニ三粒を服用すれば心身各

興奮劑及强壯劑を配合す

角配の飛肚を計らしむ 衛せしめ無力を回復圧艦にし煙肉卵を相俟つて 後つて心身の便等池袋したる時には各機塊を卵

常會 定起 東京市日本橋區水天宮前 安藤井筒堂藥品即

半島の〝契〟

交通 番船

質がたいが、大部分は己む

せて下さい。安吉多耶。 生きた金魚を際に入れて描して見

「路殿」の高木紀重氏も群長見學

仲孝夫、笠井孝二、中村被郎◆松竹──雄谷貫、原研吉、蛭川別に薪人を駆ければ──

夫人』ではなかった、 寧ろ 『娯好

船の避谷氏、東省東京の山本庫夫

映画で終って了つた、この缺いない。とラストに何等のオチのない

間から高く買けれてふる人は火

帝展の常連

秀穀氏水る

高木氏も同行

るとかん

機に乏しく新鮮味にかけてあっ

が、車上の私はさきもきした。

てゐること、がその最大のもの

利燗たるものでありながら、質的

へないかも知れぬが、松竹大船

木啓油の監督になる映画にと

純情天人

老車夫

東洋畵

「知られ花鳥を得祭として、前一でせる」と語ってあた

新進監督の擡頭 顔色なき古参組

ミウ主演一発は海の子に

らかといへば割合にらくた歌

バッショアー

金で藝は賣らぬ

弟子の親に脅された話

或之概に能く出來とか、此

で門下生の斑し物と云ふものはお【川月】さうして、よそのお淺ひ

大衆の舞踊、其の私の考へたのが

学欲をぬが、試に二三の所感を

三越で個人洋路級を開いて「第一

花柳金で藝は賣ら

| 鎌木の忠立副を展出して米たが、「議日版二、熊谷久克、成神に立男||部門に互り多大のショックを受け「紫の層様に抜に地に依しこと。子

支那事題が登り来我が明霊界は自一州萬作、伊藤大崎の如言と八明盟 期待される人たち

総へ送り出されたことである。い病体生活から解れたとによへい

映窗ニュース

☆将京湖を企調中のところ盆田・−−日活多雕川でけ城後線に沿

したが、だけれども内心は恐かつ

ペーデコロン(一名 萬龍香水)は野流 非常に清爽な番氣を深はします。彼つて

一流です

B

味には青春の歌び と果物の香はしい

が秘められてー

たつおり三人分

柴不食品工業株式

威觸です

やかな

・キッした甘さ

料理も……格も

料理屋なら

ふりかけて出す程の

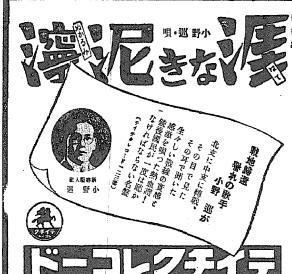
オーデコロンを

/ 一年 時のラギオ

(城) 隊村一二▲七時四○ (城) 城大壕科敦投兵偽三 (城) 城大壕科敦投兵偽三 (東) 城大壕科敦投兵偽三

お手拭に

東京の江戸川で乗った車だった。 撃 類 だより



十七日 竹型店 照婚逐編支店| 竹部二〇番 机 代理店 宿田商会 無片質明治町 無月質明治町 九日、船川、岩森、九日





大阪-東京 株式會社塩野養商店

あるところ 墅 タ か の **々** 高 し價

川 仁 塩造酸油醬杉高

ポンホリン 水虫には パ虫には 1-至0セン 20セン



今月中旬仁川港から科田せし米の教社は古家本に三十九百十五百日本に近、一十九百十五石日中一山に比較すると玄本は百五十五石日本には横、一十九億八日上校すると支土を前月後の移山に比較するとも、本徳四日は産業への移入に使り東京大阪名古成等に於ける経来の第二大阪名古成等に於ける経来の第二大阪名古成等に於ける経来の第二大大阪名古成等に於ける経来の第二大大阪名古城等に於ける経来の第二大大阪名

かせるものがあった

虫部の要生なきゃらが基下る 虫部の要生なきゃらが基であるが「十 水路瓶付は好成報であるが「十

流石は其路の駅門家だとうなった。 方法などの後期な監まで触れて が表現した。

仁川港移出米

大さが駆ぜられて好成戦。貯蔵板の割さよりも大臣らしい旅のかりした計調で銀行家としての

池田蔵商相の初放送も案外しつ

上月は前天後期八月からは本天災 に残り出す時であるとにに本来は 高次様少に何さるは、 後升も乏しくなつて寒るのでこの 乗界に買りひに七歩の選歩を申する に変みの数人とがり地水の選歩を申する に整本の数人とがり地水の選歩を申する に整本の数人とがり地水の選歩をする に整本の数人とがり地水の選歩をする に整本の数人とがり地水の要歩 に整本の数人とがり地水の要歩 に整本の数人とがり地水の要歩 は一大大圧がり過減に持てない。 対するが原本のなるをのであるからと等の水が出来となる までは末大圧がり過減に持てなる までは末大圧がり過減に持てなる までは末大圧がり過減に対しるる 好であるが順付着す。後の間田署め がたんであらない。と云、大門本があるが。 と云、本に力筋が多い。

も質症されると話種の観り

れに工業組合会で 出しかけてきたこ

てきた

值付成績良好

組の民間厳盟が築

電話本局② 515 15

急落 後持合ふ

ij

今秋田株式現場に

高寄り後

北方、後の中で、 は十九銭から十八銭先物は四十四 は十九銭から十八銭先物は四十四 が、一部形を呈して前項を終了した。 後場。 解禁押に前場を打止め たあと飯地は観測すら常所は第一 たあと飯地は観測すら常所は第一 たあと飯地は観測すら常所は第一 と前上世紀中本中、一回四十一銭 と前記世に前述と一九銭

調を見せ質組は極度に調整見せ質組は極度に

三十八五

1.1、0.00 1.1、0.00 1.1、0.00 1.1、0.00 1.1、0.00 1.1、0.00 1.1、0.00 1.1、0.00 1.1、0.00 1.1、0.00 1.1、0.00 1.1、0.00 1.1、0.00 1.1、0.00 1.1、0.00 1.1、0.00 1.1、0.00 1.1、0.00 1.1、0.00 1.1 0.00 1.0 0.00 1

五三二 五三元

5. 様に感化して卵粉新四5. 横に感化して卵粉新四二十三、回五英の静学、四回丁と 三四五英語・10回丁と 三四五英語・10回丁と 三四五英語・10回丁と 三四五英語・10回丁と 三四五英音・10回丁と 三四五英音・10回丁と 三四五英音・10回丁と 三四五英音・10回丁と 三四五英音・10回丁と 三四五英音・10回丁と 三四英音・10回丁と 三四英音・10回丁と 三四英音・10回丁と 三四英音・10回丁と 三元 | 10回丁と | 1

入つてからは泥田に足を突込んくお話にならない許りか今月に下ョッタ百九十丁であるから全

たのと同様領目孔文か六文の動たのと同様領目孔文か六文の動たのと同様領は、出来がいと云ふ始率では関係があらの物型に依ろを開盟がき来ないと云ふ始平に位ろを問題がき来なり、日本の中山で水るし文今年は北文から中山で水るの方へも好くする数は大変の大きなが、中山で水のでは、から、中山で水の大きの方へも好くする数は保事がいのでないかとあった人で見るとこの上途来来の歌迎を観ぐずにならう。6年れないないかとあった人は大変にならう。6年れない

の食量が後はないので育四の食量が後はないので育四の食量が後になっている。

纏つた賣物

相

會

「衆を総誇するために更に関係職賃會議の必要を示唆した。 民に制度して現在の五和会議の他に財政、内政の重要該 国ることに對して國民の恐悟を促した點、並に時局の進

(手初めとして二十二日午前省

かったほ、江上に全く見なれの約 靴を破壊されて江上の一點をぐる 御は再び飛城を続い〇〇共地に歸めたほうて無速の悩近に差しか かに小絨を配射したが、螺織は導 これを見履いて遮默をあげた〇〇地は、長江の濁 この 無豊寂観に織観に新述の高 乗り上げ糧責を水域に渡して修う地を出襲した〇〇神は、長江の濁 この 無豊寂観に織観に新述の高 乗り上げ糧責を水域に渡して修う地を出襲した〇〇神は、長江の濁 この 無豊寂観に織獣に新述の高 乗り上げ糧責を水域に渡して修う地を出襲した〇〇神は、長江の濁 この 無鬼な難に離れる乗される 観なな しまった、カリは第1十二日可盟1二十一日千 一神は近ちに総蔵に蔵上され人 一部に命甲、近ちに黒瀬を叩ざ出し、「一

記者に對して語った談話内容は左 【香港二十二日同盟】 外支部以主 『年、大融省の各省と毎週1回定』に五相管路を設け外野省、陸、

血相會議に併行

咸北道廳、朱乙陸軍療養所に御成り

の神光線で抑体態所に入らせられ」から常乃峻後浩頼般況を御勅東遊・十一時十六分近顧を御退出、自動・院、成北近艦に御政りあらせられ、諸水幌桜所に御政り遊びされ、聶万分武北近艦に御到着、見鳥海郡」及に加別邦議を職はり、見鳥郊郡(校長以下十名に列立統織を職)所「帰南に続ける師應司令部、即水州」乙に御引起し遊びされ、孫び朱乙に既記下には「十二日午前十時四」念與官夫妻・李内等「精井養養原部」朱を聴う朔筆に於て西楊縣南中學」【朱乙にて大野特派員愛】中二日「理に御出ましあらせられ、孫び朱丕に既立下には「北 京東の東京・東」はされた、起版下には有難・御言「車に召されて朱乙に同はせられた」に東久邇宮起版下には、諸以宗孟[編南にて大野特派員愛]中久選]御少郎の御談、見鳥知郡夫妻、張「はされた、起版下には有難・御言「車に召されて朱乙に同はせられた」に東久邇宮起版下には、諸以宗孟[編南にに大野特派員愛]中に召されて朱乙に同はせられた」に東久邇宮起版下には、諸以宗孟]

機能はしく御旅館に御島遠遠ばさ 一定上游政権治下民衆に對し、積

協力し時間政治をはからべ

事變處理の國內工作に

【東京電話】近衛首相は別項の如 每週土曜日朝 首相內相會談

敵の機雷敷設艦を

末次内相は近衛首相の希望によつ

び称路数ケ所を堤破又は切断せつ、) 卑漢峻道 攻撃部隊は 黎和

北航空隊は引躍さ揚子江岸敞 來一年を經過し北支各地の治安は 【北京二十二日同盟】 日支事變以 | 距離が脳膜を申出でつつある現状

臨時政府治安望では積

『佐一萬二千を施する手間和及び

同時に第二期政治工作に邁進

|種的に働きかけることになった、|治安部では右脳順部隊に武器、 で、これを機會に北支治安の態底の周年日を迎へることになったの これと共に來る七月七日事製制設

對日牽制說

【ワシントン廿一日同盟】 英米厢

が、右に関し我が周光高局は左部

株式へ

接高

H

源

凊

著

何一·五〇 送·一〇 有判 二二〇頁

狗栽主義

【上海二十二日同盟】二十一日逐

臨時政府治安部

に経みこれら出順部隊を再編版し

國が日本に對する一切クレチット

【東京電話】地方行政機構改革

重飯

村

淑

著

図四・八〇 分科・四〇 類 判 六 六 〇 頁

計實務精誌

設立より

る取締役。支配人。熊査役。荷算

複雑多岐な厚生行政を現行

歸鮮者の口から暴露 イ政策

國報警貯

問週 調强

費節約皆貯

ン廿一日同盟』スペイン

王の妄論を反駁

曜日と月曜日を切り換る

【香港二十二日同盟】 漢日よりの | ら相當大部隊の空軍が構成される 大飛行場を建設

あり、且つ今後の軍事課職として

黄沙を爆撃

その他の問題

【香港二十二日同盟】我海東航空

罷勇兵稅收案

不干涉分科會で可決 小麥 华曾7110石〈五 風

休日が雨に降り

學襍記す 大者 定原一國五〇競送州十錢

無極著 四六州三四四頁 中川紀元陵柳 隆筆の面白い皮瀬氏の説。支、辞進行記 東の七のを近の東の大のを経歴を のなかにあ近の表した多数の女後の歴史 集めてある。 『インの戦争文是』「暖元せる (東海県民姓と文化の交流版] 「暖元せる (東海県民姓と文化の交流版] 「暖元せる (東海県民姓と文化の交流版] 「暖元せる (東海大学生の東海氏の説。支、辞進行記 (東海大学生の東海氏の説・支、辞進行記 (東海大学生の東海氏の説・支、辞進行記 (東海大学生の東海氏の説・支、辞進行記 (東海大学生の東海氏の説・支、辞進行記 (東海大学生の東海氏の説・支、辞進行記 (東海大学生の東海氏の説・大学生の東海氏の説・大学生の東海氏の説・大学生の東海氏の説・大学生の東海氏の説・大学生の東海氏の説・大学生の東海氏の説・大学生の東海氏の説・大学生の東海氏の説・大学生の東海氏の説・大学生の東海氏の説・大学生の東海氏の説・大学生の東海氏の説・大学生の東海氏の説・大学生の東海氏の説・大学生の東海氏の説・大学生の東海氏の説・大学生の東海氏の記念を表現している。

カル小品集融権職職機の際語語語論自水社

野岩 垂 配會計實務誌 至著 下臺河駿區田神市京東

一京東座口替振

(一) 西宮なる例示 - (二) 法規と参議規論と 宮線の領別組合を判析の近上 (三) 全社商業投資を提供に関する實施的研究 - (四) 保土 (一) 西宮ならので、一、石) 各種を建設され、河豚の重要な手頭の紹介 - (六) 西豚・安麻・病豚を挿入

舞加

中村武策夫氏隊 アナトオル・フランスの作品中、中村武策夫氏隊 アナトオル・フランスの作品中、然 は 建りひみげて見てゐる中は、 日極カイメーなくなり、 混る淑なくなつて深る。 僕など、 との一なくなり、 混る淑なくなつでぶる。 僕など、 とのの思が位まくなり、 混る淑なくなつである。 として、 頭を下げたいのである。 ル・フランス略年勘」を卷末に添附す。

ペンギンの島総和四路の第一郎で称文學生活巡判世級

日本の大学 は、アンリウス」は「ファニー」の では、 一部で、 1 アッウス」は「ファニー」の でない、 1 味に 1 できる 1 できる 2 できる 3 できる 4 できる 4 できる 4 できる 5 できる 5 できる 4 できる 5 できる

永戸俊夫曜 ファニー 送料十回 にコル作 ファニー 定頃 回

奈士清々たる我が佛文學者を展覚するに日本的精神 が斯くも嫉問なく佛文學の文で包含れた學社に理 しのフランス書の書原の知意にのであるな。 世に送られた此の第二の研究進路像に取むる女童二 世に送られた此の第二の研究進路像に取むる女童二 十五篇、思想。機響あり、道理もの、詞語・研究由 別く関く高雅にして護和女権制造と學への好角と理 解との違み出てゐないものはない。

京設道では道内皆年職員中々駆人

|担見単でしめたところ各個員は深

理下の我が國財政の實相を廣く に基づき消費節約禁止とたすべ らしめると共に、右特許職員計

の調節を中心として特査動員

ため、墨國駐政語族の歌時編成|信國局長、軍司令部の九ヶ所に封|

軍器の充足に遺憾なるを振す一者、機監初め関係局長、総道、選

公政府聲明を發表

五相登職に於て企識院立案の物

8つたが、「翻く物査調整案を存る の首相官邸に随時酸階を聞きこ

皇國臣民たる感激

深く胸奥に迫る

宮崎縣より「行は近後

京畿道青年團內地見學團員記

食品並に商工省物立調整局にお

の制限を叙和し、棉花を主とす一一原料資材の輸入については従来

事となった。 半時に於て 機闘には實施されてゐる し、その真貌を揺録せしめ、 位向上選動を全民衆 に及ば 位向上選動を全民衆 に及ば で推進めて行かねばなられの

日本に於ける惟育は、従來

の二點は特に重視能感せしめ るのが難位向上の運動の本旨 て一般大衆の生活とは遊離し

節機ある行動をなすこと

恐たらしめわばなられる

伯盧村で決死六日に亘り奮戦

中村部隊長當時を語る

3竹崎保雄、日米騰油玉 田光府會高橋一穗、

保險料拂込期間を

が割安であります むべき保険料總額

(風五球二字段) 號 月

方 | 治 大場白水即・(外十氏) | 治 大場白水即・(外十氏) | 治 大場白水即・(分十氏) | 治 大場白水即・(分十氏) | 治 大場白水即・(分十氏) | |

盟位訓練をなずと共に、部数

耐士の意氣や軒昂

創立を行ったが事業區域及役員

四 配利 當益

契約満期迄に拂込

五大特

長

七级十六顷符

詠 近

中央揮發油組合

一十日創立總會

萬を破り

長となり先づ小倉大邱商職管理よ一段明を夫々職取の後、半島智彦の一路の大陸競技に對して極力等度す

養

案 內贈

糖に触れずる範疇において曖昧に公開する方針を執るはずであって、同計概葉が案は皆の大葉は左の如くである tuれつゝある。 強位の向上の 内に本店を有する会社の資本異動 計畫資本異動 高川)、朝鮮砂金鷺墨(11百萬 の新設の外朝鮮油脂(百十二

入れて居らぬに配理に苦しめられ

食地から電楽の十一組合代表的

保険金を受取る時

大會で決議

更するだけで、保一將來の保險料を變

允仲狀湿

險金を早く受取る

(風五統三科法) 號 月

新上短短萬 老溪大寒

| 菜 集 と 國 民 性・久 校 帝 二 諸家近作合評 (I) | 菜 集 と 國 民 性・久 校 帝 二 諸家近作合評 (I) | 菜 集 と 國 民 性・ 3 校 帝 三 第 3 英・ 3 本 9 世 の 明 和 性・ 同り直七宮 一 十 三 5 中

下院外交討議で チ首相重要演説

の出れぬ、三名は途中まで行つて

パレン首相は二十一日午後下院の

【ロソドン二十一日同盟】チエン 】 、「東部的目標の撮影に置つても

英政府の態度を闡明

皆せる、中村部隊長は左腕貫通

路を開いて十八日深度〇〇に入

月追つて確定の事、事務所は民国は日下本府へ選任申前の E商班合此字都宮陽二郎、 →

> 又は重くするかは づれの負擔を輕く 分し、前期後期い 長短幾通りにも二

七世十八個

集脉力堅中

洋山鳴音世嶺日竹飲わ

| 1 美術を映る。山田等子 | 1 美術を映る。 1 山田等子 | 1 美術を映る。 1 山田等 | 1 大田・東京 | 1 大田・田本東 | 1 大田 |

加入者の自由であ

七月七日を期し 東亞研究所開所式



の金融域に直り創発研究し、これ 首相官脈に於ける近宿首相の昵梨に 民協との他萬秋の謝軍部をアツア これに属する誹唆権も表る十五日にない。 といいとのは、私郷、女化、風俗、本ったことに眩戦の如くであるが を以て右政策樹立の芸能にらしめ その他各方面関係者の指揮を以て「一大説明鏡話」

に努めるものである(貧民上、近

着手した人綱工場(日産二十艘) 日本紡銭が北岬の清津港に建設 米路パルプより供給を受けるは、 夕刊後市

京城府黄金町二丁目

(20 = 100 始開本配回一第

森林木類・畑田弥特・圏樹果

第一屆、東部國際の下級法 第二章 現代國際政策 第二章 現代國際政策 第二章 現代國際政策 第二章 特殊国際政策 第二章 特殊国际政策 第二章 特殊国

東

動産評價の理論や實際

Ħ

著

(定國)大 周达 四(左個不同)

花島得二

初めて集成された待望の隨籤集 藝術と生活の閻髑に觸れん 五百八十頁餘りの大册、著 る者は本集を證め!!

其書隨 他簡筆 次 目 容 內

(始開本配回九第)

保険料の拂込を中

を軽くする方法が 保険料拂込の負擔 期は遅くなるが

止して、保険金額

は元通りで拂濟終

方法もあります。 身保険に變更する

(商工省届出

贯全集 類上判察。 形九登

鐵十八團二 冊 一 路 四 十科路

支三國を通する經濟プロ

二十二日午後二時より京城商職官

鮮米としても

研究の餘地あり

鮮米温度問題との他重要問題の監一その他取締役、監査医等同れも重 め東上中であつた下飯坂本府未設 **卜飯坂米穀課長歸任談** 任と決定した 愛國無虚を

者所でも其の趣旨に全的に鉛目 鐵温協会の要國無素(小質)

質行に入るが新無磁は三ヶ年三五 日紡清津工場

· 要家支社() 昨年足(内地繊維) 年内完成見込み

繑

ツベル著

石中象治譯

いた珠玉の短幕七つを攻む。
著者は獨強的質力を人間の無力を描
著、環境の魅力と人間の無力を描
を選出を変更の第一人

湦 斯鴻潭 紅 零 飯 雅 服 服 場 明 課 明 課 王 他照 六解 監集

現代 ゴーリキイ著 不用人。 見 一上监 男寶 を 個 六 十 館 選科六館 選技配布宮時に対けるロシア民歌 選技配布宮時に対けるロシア民歌 の動きを一部領の生活を中心にして の動きを一部領の生活を中心にして の動きを一部領の大きのである。 藤を茶取料面に抜ける大数文時。 世紀初園に於けるロシャの人間高 コーカサスの大自然を背景に十九 之 便 五 十 総 姿料六級 の中に変てた液酸原泊の自即小配の中に変てた液酸原治の「医風吸溶」が消末・時形明支那の「医風吸溶」を強力がより以下ず日支索れの人やも定かなら以下ずは 個 四 十 餡 選科六銭。

振替東京八四〇二番東京芝區新橋七丁目 P 倉 天 心 傳 改 **停電日**へ大本 唯一無二の質配文學。 原数を残した天心の保釈を確した天心の保釈を知りた天心の保釈を

造 社

廣

小女相に與ふる書・杉森孝次郎

きのふ第二日の戦績

★事變第三期戰に入る』先づ敵情を知

「政略の意義・横

全鮮庭球選手權大會中央豫選

植民政策論:古垣鐵彫

ζ.

應

る。

用糖

せ 尿 黄

等

K

夏花

肺慢腸鼓急人異

炎 膚 常 慢 養

病習性兒性

腸

力 化

B 不

עו 良

便のの下

榮 醱

消痢

酵

廣結性性腸性工常

(B)

疹

其

他

核腎皮

ら病疸麻祕

將介石會見記・カンサー

日本映畫監督論・上野耕

下內子 夢 夏光 弘 積 睛

恒当

閣改造裏面秘話山浦貫

、壇的自叙傳·正 敬·原

支那事變 | 奥年輪日 伊 東 忠士新國策會社を荷・人 さ 杉 並 尊 人

腸疾患 SANKYO 共

英國民主及義。正体龍田鍊太郎 危機解消せず野村重太郎 岩登りの味・浦松佐業を陸軍の恩人西周・麻生義舞 --古屋 芳雄 WE RE WAR TO THE REAL PROPERTY OF THE PARTY 1 M MAIN MI

★チエッコを練る欧洲政局─清★欧洲の危機去らず─伊

鹥 な乳ラ 家る酸ク 一直と間ト に效製ス 定果劑夕 評のとし しぜ あ的 り確ては な品本 る質邦 はの鳴 寶 優 矢

験良の

来 쯽 他に大服人を選手の経 会も書

株 웇 會 祉

東京。室町

Ξ.

共

目もお母様につくつて戴いたお

に東京の舞踊が負けた―

※舞踊會の稽古場。 [3]

'も京城連さの握手

他

流い、骨水原路をする解鍵と

一庭で朝の準んだ空気の中で それから歯を磨っ

その身體級鍵の長い時もこの

夏は心身鍛錬の好時期です。

注意

悪い病氣にかゝらぬやうに:

- 和言せて頭の地脈に残つた石崎

|確す水に油を二三滴落すとしつ

其處で一歩を取つて金頭を叩

油をつかはないでも既優様の と配が出て毛をいためません 祝髪の際には一度頭の地肌全部

近代令嬢好み新髪型



ダーピン磁をやさ く和原向に生えぎに

っるもので、ともに歌詞はなく、 表許、何村の トリナで 高る器皿 舞蹈形式が多み出てゐる、一美、 を切りまで赤貝は貝より取り ひよく数り気に取り充分に水 ひよく数り気に取り充分に水



赤貝の寄せ胡瓜

敬としての症状を切ぎたいから他ののクセの思いのは、表面に施士や難らるのであります。 斯ふした婚内様

譽學博士井上猛夫先生 掛:

礼功先生創製

芸の善職に合つて、 小知氏は一番だ悲しむべき局面に路つた。 歩

後手悠々ご應戰

先手の玉碎戰法

飯

塚勘一

無病の残師

治し方を誤るな

る権職や、秘疾の像置が龍内の敷傷は、十つかり治つたと思ひ込んであ 滋配』「汚血」「古血」といる

折縦に平面に入れ、其の上

け、地に琴を出さないのは賑や

に応了し一人前二切れを話に 約二時間位の後階をりま

ぴつたり合つた

荒 小

勢さに向ふと組載の見味がつど 俎板の臭味を抜く

極めて簡単ながら風味は上々で

↑ 蒲鉾の松風鏡 →

角に切り、面と野油を温ぜた中へ

【第八局】

びつたり合へば効きめが判る 色々の病氣を起すが治療法が

梅毒と贈る

があると

拵らへ方 先づ消葬を一寸五分

・ダービン型

若梁の木道皿、あやめ谷を

肋膜で苦しむ

会身が化殿蔵に對して弱いのでも う、之は祖々の原因がありませら

送と「脱資多益」で、飲せる方法即ち本 の

梅毒と體毒に効果勝れたる

でもスケお平常にみだと知ったら進

い、原野に御安心です、ロワカミヅの醫療的性能 なるでせう。





してしまかます。 地域が対象がある。 日本が終めるがのでは、「日本のでは 聞いあれ歌に

一般分ワカミツで手 の 類別りや、ハゲ る誇を行賣と用信るた然斷中品種同の外內 料毛養の社談講



そので大いに暮んにおおいた。お恋等の説は、おおがりの説は

(りあに店品紙化・店乗るあ用周囲全) 鏡十四圓三 用徳 銭十七圓一 瓶通普 [仮定]

すまひ顔を定指物としがらカワの肚が間 は頭の求お 函 园 玉 荔 社會式機 店理代總 都多陶胜聪明會辯 检本日大 川石小京県 像本

養毛に。美變に。毛生促進に。確信を以つて御愛用を御暖め申し上はます。間にも定評あり、潮天下の巡謝と信頼を集めて砕ります。 た最高位品で『現代の醫學では是以上の壓斷は得られない』と専門家のた最高位品で『現代の醫學では是以上の壓斷は得られない』と専門家の変を美しくしたい、搾返らせたいと云ふ椋な御出文はワカミツがお引受一変を美しくしたい、搾返らせたいと云ふ椋な御出文はワカミツがお引受一切か。 がみ。 城毛等から 夢毛。 岩心。 切れ毛等の 傾はしい 陸雪を 始め

女配が出來ない、始終身體の

加業者の抗議

片や平澤自動車はあつさり要求を一蹴

さて當局はどう裁く

た葉石を打つて作つた突堤を更

【仁川】 宇山灣入口忠南唐津郡松 | れを知った同方面に脏路をもつ仁 |

霊峰の地下資源に

がる盗掘者

すでに四千餘の多數に上り

取締當局手を焼く

これが防止又は微暴に活動中であ批低するため、関係養養質問では るが、何しろ巧妙に田辺し少数の も歴化して景峰の骨段を励らず

麥の適刈 棉作肥培と

温面を、概作記法、並に姿の適朋 「東週間と定め、井上郡守以下圏 春川】郡際さでは廿一日から一 質で各部路を骨壁行脚中である

第4 肥铝管理に遺跡た指導を加へ 利子で震速し共販時に回収、一方 ぬり、共坂出起り卅萬斤を目標と 7歩で前年より二百町歩の岩加で 凝川郡の棉の作材面積は七百計 同島省では肥料代三十四を無

石炭部門は四萬人

労働者ならいくらでも**來**い

滿洲移民を禁じて勞働力培養

龍仁道議戰

り芸典面から李鍾氏の出思があり いて約四萬人の勢動者を必要とすとかられてゐたが二十日午後に至 | 虚五ケ年計畫により最終年度にお 選に申忠ひ、沈英侯爾氏の華都戦 | 労働力不足は石炭部門だけでも境 龍七】廿七日施行される道議龍一乗り出すこと、なつた、本道内の

大観半年作に達するものと見

たため騒撃されたほどのこともな

四十四にもなるのに味を占め部者。びこれに他近又は内非温地よりの

と調師も朝鮮、内地における複数

講師その他も決定

公休日に家

眼臓して困惑されることになり日(元素等である) 「独物である」 「独自元政×女一〇七敗なびロー」」 「非常教育就在所育務等二百餘名を貯蔵してのたが非常時重義関軍に「何人が登場するか発調を言った」 (特に多表は且の機運通常に得出 長、消熱和発取、背命酸、金組型 日支交配の

でも三値橋、千億相、即蔵幅さて、「春川」浙原金繁和製でに乗む、非常によくために供用総種に図過する監視の群(異相製金家に供給すべき服務的三)し使良芸様であらら早く年業者から巨債の千億相、即蔵幅さて、「春川」浙原金繁和製でに乗む、非常によくために供用総種に定め ことにした、本春は天候に恵まれ

なかつたにも拘らず登見の解育は の防空監観、永田郷殿の防護防火 平由学長の那時活計造並に家庭院

種目九號×安一〇七號及び日一一

担操し防空調質など開館、平山岩

長の階値をはじめ道壁正師部大佐

『花婿はこの俺だ

前に婚約をした未練の男

結婚式に暴れ込む

一號×支1〇七號の三種を加へる

江原道主催金剛山で開く

盛を公開し多大の窓動を臭へた 防空に関する解説があり引種を結 認識させ更に午後入時から防空映 英羅實驗を行ひその偉力を一般に

江原鑛業協會

【未何】沃川郡では二十四日郡谷 畜産技術員會議

通り就素しその一月分の電銀を繋

本年度內区

江原道の毛

| 「 は関係を進めてふる | 対策を一気に飛翔手頭へ突破の上 | 対策を一気に関邦するという。 「対策を一気に飛翔手頭へ突破の上 | 対策の命名式は多ク選れる探索。 | 脚士は直ちに進走を全て自動車を | 対策を一気に関係するという。 | 対策の手配により屋南原に向ふ途中野用を | 地の切り自宅南原に向ふ途中野用を | 地のの名式は多ク選れる探索。 | 脚士は直ちに進走を全て自動車を | 対策を | 地口のいっちに |

化すべく去る十九日午前八時から 長満東小路校講堂で各面長、學校

長淵の防空

【春川】江原道では各重の地陸時 正記はどうな理でるか? 注目・お 製造するやらに申回てゐるがサテ のいがみ合ひを選信局並に忠南 種家畜增殖 五ケ郡に配給 河氏の代理辯護士 期成會幹部に暴行

職業學校の寄附敷地を繞り

晋州に暗雲とざす

| 日本田全の不得海として上海 | 「大学は、1000年間 | 「大学など、1000年間 | 「 【番用】歩む十一年の春、島内存』で後続金では精会な開きこれで帰って北京場「香州及特別に提起したこころ何氏」は、城や城でとになり来月から、日は日本の一日は「一日本日本の一日は「一日本日本の一日は「一日本日本 関端に解決するべく徐辞製士の止島外四氏は同日午後五時頃問題を

映感を強打出血の重傷を負はせ、は除氏は衰大昌氏に暴行を加へ左 もかゝはず不遇な態度に田て果て

に卒倒し人事不省に陥ったので直

「長端」都統署では空の減りを端一等をもって報酬した江原祖では更大地三合計五機の愛國機や苗磯の命(は武器行の準備を適めてみる。海

を設立すべく器可申請をたしたの「作土地に立入禁止の假度分申請を」

【茶用】韓に馬段、哲史、子大樓 の然識のゲンボル陰軍機1 て 遊事 を整行することに決定、遺作局で | 手念を滅したが精過に非常に駆く八 千 枚 製造 | [平東] 総後平粛道官五十萬道民 | 十六日午前九時から帰れの令名式 | ちに公警道無典の際に入院際な 陸軍二機の命名式 來月十六日舉行

なら突堤の先端を階段式の段計に 綴にてあるが燃化されたもの、中「は三回、金花先君は一鷹、金石萬 こらら尤も蛤が深着側はない条葉(きでは現在世後名を吹替し像)主(うものもあり最近は時周調話に続)に省託したので廿一日本計開教支。日午前十時代州器に押送され日下、寛とでの機能に希腊しないとう。(感謝)の献金 (開坡)大成一にはすでに二百鷹近い貯蓄さへな「合貫珠剛君は五十塊短線甲し主任」に同夜十一時頃収押したれ、十七、寛して瀬港湖に着出していたり。 して是非これを作らればなられ。任は戒化薬郷に渡ぐるしい努力を一動して叙を献金を申出で黄在奉治。曷に手種方の依頼があつた

節して関連語に寄稿しないと力

低低値として収調べ中であるが成 行きは社目されてみる

貯蓄週間

原州郡職員

汗流した快よさ!

やか

な庭園

7以

Ţ

5

勤勞率仕と

一続労産仕と政党をよの設立を修復権

参照すること、し十五日 | 職党 會を開き事務網所能察向上にン 仕デーとして神扇境内の指揮その 諸殿の事務を主位 ニテえが既然

蓄組合組織

作用も兼ね備へて居ります。

完全な滑揚作用も の含有によつて

果

養假豊富な特殊!

物 菜

堂生資

To)la

t I t

すばかりでなく

態であるなほ桑石を加へた徐煌 和合を精成し質現に邁進すること の既行について具體的協議し貯金 署、各種開始等三百餘名を招かり 强調判問に入り仁川でも資源特温 十九日 阿夜に分け 金の芸者、官会 【仁川】廿一日から続後貯蓄製

何は日医より由血多量の食め現場

華川にも委 員會結成

戦労貯蓄の實行並に貯蓄薬配の予 過路台を開催し、耶稣後韓國委員 和内の有力者三十億名を招集して い郡銃後報國委員会設立のため、 【難川】 那では十九日午後三時

微葉につき観路を掘めた 龍仁の馬糧評定

【龍仁】去る二十日午前九時から

席の紡器田席の上任政守の下にお

馬の馬強打合せを行い午後四時

中堅青年の講習

春川吏員養成所で 來月五日から開く 職為) 見事(新北面新銅里茶川 長) 生活改著(武谷主事) 鹿科 長) 生活改著(武谷主事) 鹿科 長) 生活改著(武谷主事) 鹿科 (大龍技師) 菱蠶(北澤技)

肺結核

告せられ、殊に早輕 ても相當効果あるを報 本劑は重症肺結核に對し

早期治療の効果

療を推奬する 息の爲めチモ 待さる、結核疾 なる好質績を期 籔も少くして優秀 期に於ては注射回 よる早期治 アオーゲンに

とになった、受調者は第七項独定 中医哲年西部諸智量を開催するこ まで五日間春川地方更員養成所で 後自家及び部沿更生投襲のため活 **更生指導整済中の中医青年で闘**海 0.7 K - 22 K **農民訓練所)座談會(講師会)** 職場)見事(新北面新銅里寮)

田建りの傾向があり郷常に墓が、字本道の工事界の削金は珀色姿態が、宮民達は昨秋茶の景景に経済。されてゐる

年就世紀以上世紀末語で質度影響 二回限り人獨選ヴァンダルデ動し得る崇賞を有するもの、及び 愛館 【七川】二十二日

中部朝鮮野球大會 廿五・六兩日京電支店裏球場で 主催 水原運動俱樂部

後提 京城日報水原支局

|炎の大有変計量中央、平安海系線||飛掘、日蓋マグ、日産化原輸大工||民の対田しに努めることになった||使記書有嘉週期……学川色では収入不恵。||不恵:||本意規範:無徳|の敷配平原豊田の緻密工事、昭和 | 念し参力信加速動によつて地方度 | 「作川」 廿一日から居民豊助員試

工事界は二萬人 遺質局では近く本府に一立案中である

前途は相當憂慮さる

和一念し勢力倍加温斯によって地方配合ので今後は他道よりの砂人を賦むので今後は他道よりの砂人を賦

春川の各機 關總動員

研究會結成

仁川にも貯

不会定法 医学博士 衣 堂

原城長の三町小林又七朝鮮地圖部朝鮮地圖販賣元は(聖録進呈) 忌城南大門通四十六九(朱甫町停官所到也)

昭和十一年七月一日現在謝何地國

頭痛器

本 六月廿六日 四多、長崎、庶兄島、 三角 九 六月廿七日 九 六月廿七日

朝鮮郵船定期仁川出帆|

高杉商店回漕部

四四部沿海河四 世龍 (田荷保専用電話) ┃ ○三番

苦痛苦痛云わずの んで見給へ 000 1/2



静脈內注射用・吸入並に外用

学會總會に本劑が中心的存在として論究され、今春京都にて 學界に重大なる使命をもつて競表され・・ 《興摯なる數多學者の研究發表あり、殊に毎回の日本結核病 開催の同學會に於ても數題の有力なる實驗成績の發表あり

益々其効果の認識を深められたり。

肺結核・肺門淋巴腺結核・肺尖カタル・早期浸潤・結核性助 膜炎・結核性腹膜炎・カリエス・腺結核・腎臓結核・結核 赝 症

性關節炎。結核性靈管・皮膚結核・生殖器結核・ 其の他結核性諸疾患竝に肺壊疽等。 (説明書贈呈)

手販資元 東京市日本橋區本町三丁目 株式會社 鳥居商店

三塁藥品株式會並

札幌市南四條西十三丁目



ようてそ花柳壽美

頭華やかな交驩

私達は張切つてゐる」と

『見果でぬ靑春』の女主人公語る

女王花佛寺美女史は雲頭で抱負を

全力を盡して



の可認な通報料もの方のフェルセネマとに 最もの方の再な様のである。 チリーに描む方……もなたの特もの適しス を物存じでせきか。本等を認んでこれら最神 を探想の原因と近しい治療法を知って下さい

を構造等材料商 吉川 洋 変数金町1丁貝(電話本品基10)

打

京就府资金町三ノ二二五昭 (2) 二 〇 三 → **四十二四十二四十二四十二四**

整整形外科

放製

入院隨意

京林多人との音は外間と

生陶器は東陶製品としています。

即

城府瑞麟町一番地ノー廣橋といり、経営社本店チ六月二十二日左記の所へ移轉仕候

商科一般及レントゲン科

クロダ殿科

本質量でである。花柳病専門の

粉鮮協同油脂素會社

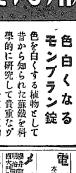
界目紫的

(電信宛名在蘇聯級) 虎蜒蜒蜒 統同處狀 (電信宛名在蘇聯級) 虎蜒蜒蜒 統同處狀

7ひこぼれる爨……誇らしい髮!

體の童謠

でん月反の 藤本順 博士削製



來月七日事變一周年を迎へて

ホルモンを抽出した藤本やモンを抽出した藤本のに研究して貴重なり ひんれた藤鉞を科告れた藤鉞を科 博士の色素解薬モンプラ

ンは色異、シミ、リバカ ス、コキビ等の内服築と 四明海州町本計画を大きの四州市町本計画を大きので、10世紀で、20世紀では、20世紀には、20世紀に

切手二枚封入の上左記 ぞ すから御望みの方は三銭 明書と試藥を進呈致しま とを遺憾として自筆の説 般の賣藥と混同されるこ 猶藤本博士はこの藥が一如く白く美しくなります 特別案內

次事長条集 四路五級以下の端、工典動者 四路五級以下の端、工典動者 の高及風形等を表示したし の場所では、一下 一名級所でした。 一名級所でした。 一名ののでは、一下 一名ののでは、一下 一名ののでは、一下 一名ののでは、一下 一名ののでは、一下 一名ののでは、一下

朝鮮織物珠會社

半島の献金四百萬圓突破

町會の縺れ再燃

胚芽米を食べる運動

先づ一、二年用を募集

本年は小母校一、 野一覧を聞か

これは 金鶴が創りなす髮!

A

で置きます。 電話服用 100番 森本へ

本院大三一番 好い電話変たし 本院大三一番 好い電話変たし

全然副作用がなく健康をして賞用されてゐます。

増進し二三ヶ月で別人の

る

会 で、モンプラン製薬所 の 元・モンプラン製薬所

になれば分果されます

ンプラン製薬所宛お申込

・ 大学の一般のではます。 ・ 大学を表現の一般のできません。 ・ 大学を表現のできません。 ・ 大学を表現のできまない。 ・ 大学を表現でできまない。 ・ 大学を表現でできまない。 ・ 大学を表現でもない。 ・ 大学を表現でもない。 ・ 大学を表現でもない。 ・ 大学を表現でもない。 ・ 大学を表現をな

く。後添いにどんな仕打ちを受し るかと考へれば、どんなに苦労な

後夜の鐘をつく時は、

合 入州の炭燥 合 晨朝

勿論この白は取らうとしても取 し、関るいも、つれないは、 節に恨は数々御座る 合

行かればならぬ種具は非勢なので れる石ではないが、それを取りに

性もの、櫻々と歌はれて

|なほ黒百二の態長は何んたる事で 十五』にケイマシ、人事を遊して 評にもある如く、百二は 『あノ 「類望」と引導を渡されて而ら 観戦記 は、思さんト 器性もの東斉ちはは子はものちゃ

黒百八までとなった自地の目数

朝飯前である。

九州鄱船出帆废告

ケるのは、黒「ヒ」白「 ** ** (T)

和月出期 2016年一連續 2016年一連續

迷が好評です。 めか現はれます。 甘錢 卅國 五十

けて塗付して下さい。質本劑を、添附の綿槨につ もので、効果の的確・迅士の處方になる權威ある に氣持ちよくサツバリと 見や鼻の 別は 預逸 ポリツェル博 悪い静は

うちみ 神經 脊腰痛 くじき

げ又悪性のカブレも起さて頑固なコリや痛みを和。味よく爽快迅速に作用し 味よく爽快迅速に作用し 意透し、スウーへと小氣 いれば忽ち薬効が皮下に **す絆創質式で體裁がよい** (定位) 二十錢。三十錢

製四、共催布ニ附僧ス ・対なル 投資ニ、機業 ・対象リスル・投資ニ、機業

京城地方法院

子は鎹[懸縛]

ることが急動となるが、之が爲に

し、何足らざるものは金の現送 品の多くを輸入に俟つもので **駅手のためには多大の物資を入**席 傷のに全力を使用せればなられ

らず、經療力に放ても勝利を獲 **店るが、國民は兵力に於てのみた** 豆実事題は愈よ長期化せんとして

識時局と金 「後七・四〇1森 廣域

依る他はない。

和恋楽後期の機配と共に一种恋楽後期の機能を経たる材解は一葉に正百年。更に近代監察が、強指群を変貌して

皇漢薬の精髄

益々その真質を高揚。

学網各地薬店にあり

展替里京五四〇番 程序市即用銀音可

木衬松太郎

めにも、

前田白秋

も、自らの生活安定を確保する食 り、以て經濟の均衡を関ることを

器仁川ョリ阪神直航

| 1月三日 | 1月日 | 1月

日代表取締役即民間へ

[152]

って下さる事になったのも佐山さ 「明男も佐山さんが好き

るんたが外が大臣の官邸で

かのり 11、のぞみ 三、

午後・一五 家庭の時間

東京放送等継梁園 | 六・三〇 ハーモニカ獨委東京放送等継梁園 |

ラク協立意味) 「時六後午」 ク話童京東 園稚幼野蔵武

ると云ふ子は夫婦の間の鎹といる

九郎一家に目出度く春がめぐり來 日親子は再び巡り合ひ、こ、に修

織及登記公告